



大將軍小だより

～ 2 学期学校評価号 ～

令和2年3月4日
京都市立大將軍小学
校校長 宮元 努

令和元年度 2学期学校評価から

			児童（％）															
			よくできている				できている				あまりできていない				できていない			
			1・2年	3・4年	5・6年		1・2年	3・4年	5・6年		1・2年	3・4年	5・6年		1・2年	3・4年	5・6年	
1	自分からすすんであいさつをしている。	R1 1学期	76	63	62	23	35	36	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
		平均	67			32			1			0						
		R1 2学期	56	60	35	41	36	59	3	4	0	0	0	0	6			
2	友だちをたいせつにし、なかよくしている。	平均	50			46			2			2						
		R1 1学期	83	46	67	13	43	29	4	7	4	0	4	0				
		平均	65			29			5			1						
3	こまったことがあれば、先生に相談している。	R1 2学期	76	50	41	15	40	51	6	8	6	3	2	2				
		平均	56			35			7			2						
		R1 1学期	59	15	35	32	52	42	9	29	19	0	4	4				
4	あさごはんを食べ、学校におくれないように家を出ている。	平均	36			42			19			3						
		R1 2学期	49	34	16	42	43	45	6	17	27	3	6	12				
		平均	33			43			17			7						
5	わすれものをしないで、学習の準備ができています。	R1 1学期	76	69	81	20	22	9	4	7	8	0	2	2				
		平均	75			17			7			1						
		R1 2学期	54	66	63	27	19	29	11	11	8	8	4	0				
6	係やそうじ、給食当番のしごとを最後までおこなっている。	平均	61			25			10			4						
		R1 1学期	50	28	59	46	57	33	2	9	8	2	6	0				
		平均	46			45			6			3						
7	はきものをそろえている。	R1 2学期	36	26	41	48	55	37	13	15	20	3	4	2				
		平均	34			47			16			3						
		R1 1学期	80	66	65	18	28	29	2	4	6	0	2	0				
8	自分のよいところが言える。	平均	70			25			4			1						
		R1 2学期	74	60	56	20	30	33	3	10	8	3	0	2				
		平均	63			18			7			2						
9	授業がよくわかる。	R1 1学期	68	39	60	24	39	21	4	22	13	4	0	6				
		平均	56			28			13			3						
		R1 2学期	55	35	25	32	46	47	10	15	22	3	4	6				
10	授業中、人の話をさいごまでしっかり聞いている。	平均	38			42			16			4						
		R1 1学期	39	11	33	37	50	31	22	30	21	2	9	15				
		平均	28			39			24			9						
11	授業中、自分からすすんで発表している。	R1 2学期	40	16	17	31	32	36	20	30	30	9	22	17				
		平均	24			33			27			16						
		R1 1学期	72	43	69	26	44	25	2	7	4	0	6	2				
12	家庭学習（しゅくだい）を自分からすすんでしている。	平均	61			32			4			3						
		R1 2学期	58	56	44	29	38	42	10	6	10	3	0	4				
		平均	53			36			9			2						
13	本をよく読んでいる。	R1 1学期	74	43	52	24	48	29	2	7	15	0	2	4				
		平均	56			34			8			2						
		R1 2学期	51	28	33	40	55	47	9	15	16	0	2	4				
14	大將軍の地域のことが好きである。	平均	37			48			13			2						
		R1 1学期	63	40	25	22	28	33	13	28	31	2	4	11				
		平均	42			28			24			6						
15	大將軍の地域のことが好きである。	R1 2学期	59	40	14	21	23	37	14	22	29	6	15	20				
		平均	38			27			22			13						
		R1 1学期	72	53	58	26	28	29	2	15	13	0	4	0				
16	大將軍の地域のことが好きである。	平均	61			28			10			1						
		R1 2学期	58	44	37	22	23	39	14	25	20	6	8	4				
		平均	46			28			20			6						
17	本をよく読んでいる。	R1 1学期	80	46	67	20	45	16	0	7	15	0	2	2				
		平均	64			27			8			1						
		R1 2学期	62	45	37	32	35	35	6	14	18	0	6	10				
18	大將軍の地域のことが好きである。	平均	48			34			13			5						
		R1 1学期	83	59	59	15	28	29	2	7	8	0	6	4				
		平均	67			24			6			3						
19	大將軍の地域のことが好きである。	R1 2学期	72	54	29	22	25	45	6	15	12	0	6	14				
		平均	52			31			11			6						

今年度2回目の学校評価を保護者の皆様、子どもたちに12月に実施いたしました。保護者の皆様からも1学期同様、たくさんのご回答をいただきました。1学期に引き続きアンケートにご協力いただきありがとうございました。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましては、平素より大將軍小学校の学校教育活動へ参画いただき、子どもたちの学習や生活をささえていただいております。学校評価では学校での取組がどのくらい達成できているのか、重点的な取組が功を奏しているのか、といった結果を客観的に分析する機会であるととらえています。学校教育活動は学校だけで取り組めるものではなく、保護者や地域の協力があって、効果が上がるところが多々あります。

今回は1学期のデータと比較できるように、保護者の皆様の集計を下表に、児童の集計を左表に掲載いたしました。数字は％です。

全体を通して、保護者と児童の評価ともに「よくあてはまる」「あてはまる」の合計数が多数を

占めています。各家庭で努力して頂いたり、学校においても改善に努めていることを評価して頂いたりした結果と受け止めております。有難うございます。

ただし、児童の回答を1学期と2学期で比べてみると、「よくできている」の回答がどの項目も減っています。特に「忘れ物をしないで学習の準備ができている」「係やそうじ、給食当番の仕事を最後まで行っている」「自分の良いところと言える。」「家庭学習（宿題）を自分から進んでしている」の4つの項目では、1学期より「よくできている」「できている」の合計で10％以上も下がっており気になるところです。

1学期学校評価からの変容と学校が重点的に取り組んできました評価項目を中心に、以下、項目ごとに見ていきたいと思います。

<項目ごとに振り返ります>

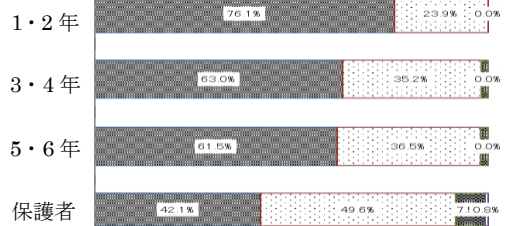
すすんであいさつをしているか

児童評価では、「よくできている」が低くなっているものの、「よくできている」と「できている」の評価を合わせると、95％以上の高い数値を示しています。保護者の評価も少し下がっているものの、約90％の肯定的な評価が高い数値を示しています。

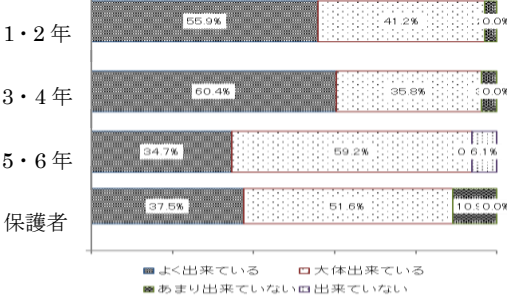
このことから、あいさつの習慣が定着してきていることがうかがえます。一方で、寒くなってきたからか、うつむきながら歩き、挨拶が返ってこなかったり、声が小さくなったりしている子も増えているように感じます。見守り隊の皆さんからも、あいさつは「できる子にとっては当たり前になっている」との声もいただいています。どの子も当たり前にあいさつができるようにしていきたいと思います。



1 学期



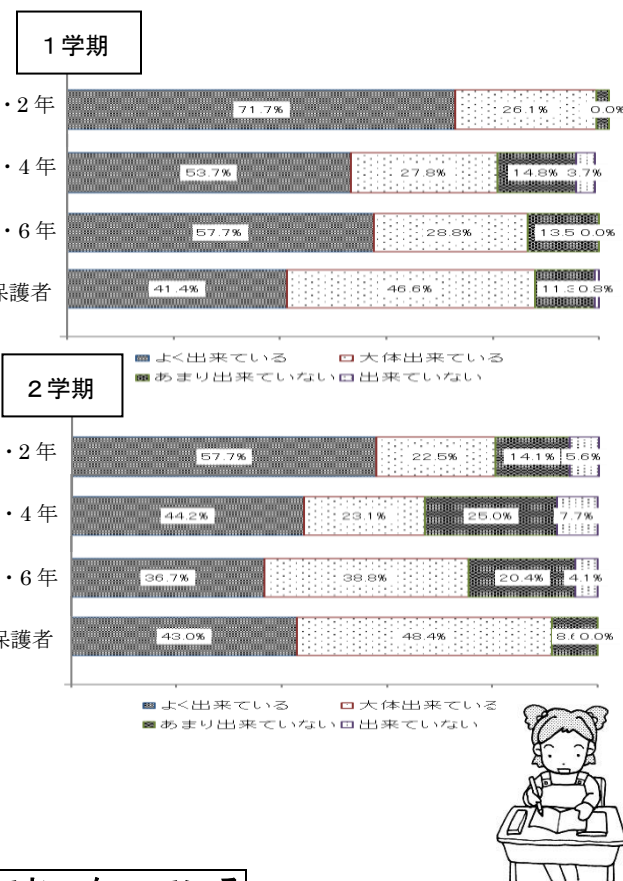
2 学期



家庭学習を自分からすすんでしている

この項目は、今回の児童の評価の中で15%と一番大きく下がりました。1学期は新しい学年になり頑張っていたところですが、2学期になり慣れや疲れもあり、家庭学習に対する意欲が少し低下したのではないかと考えられます。しかしながら、家庭での声掛けもあり、提出状況に関してはそこまで低くなく、出さなければいけないものは何とかやりきるように努力している様子もうかがえます。

家庭学習の習慣を身に付けることは、確かな学力を身に付けるため、また生涯にわたって学ぶ意欲を高めるためにとても重要なことだと考えます。今後とも引き続き、家庭で声掛けしていただき、わからなくて困っているときには、一緒に取り組んでご協力いただければ嬉しいです。

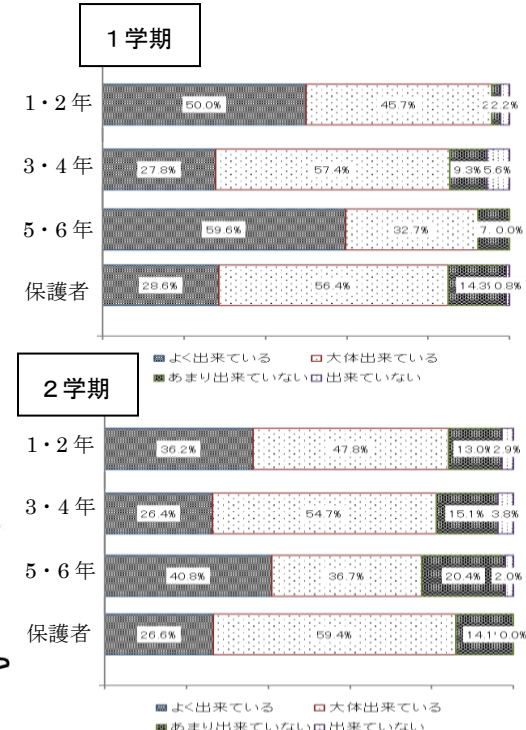


忘れ物をしないで学習の準備ができている

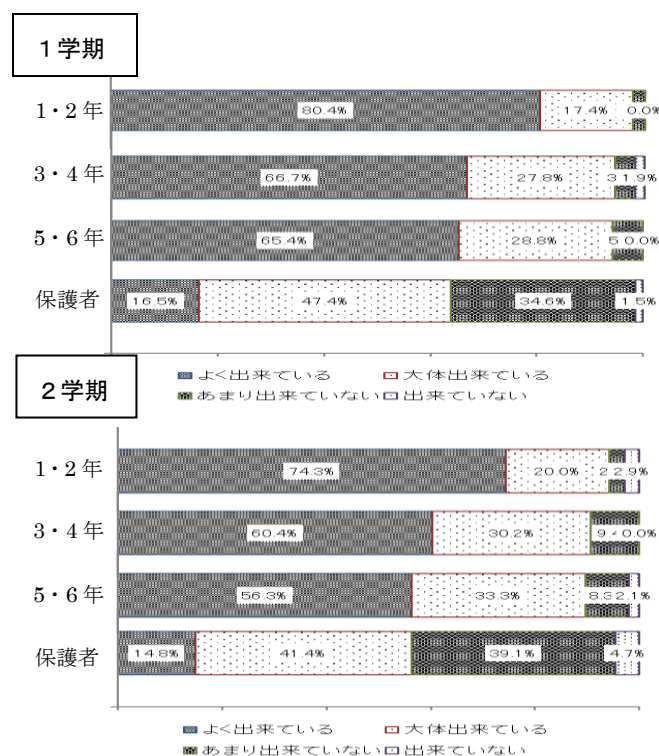
この項目も1学期と比べて児童の肯定的な回答が10%も下がっています。一方保護者の方の回答は1学期と比べてほとんど変わっていません。

保護者の方々は変わらず声をかけていただいているようですが、学級への慣れの気のゆるみからか、忘れ物をする子どもが増えてきています。

準備だけでなく、朝自分で起きるなど、基本的な生活習慣を身につけていくのも小学生の間の大切なことです。これからも変わらず声をかけていただくとともに、少しずつ自立していけるように手を少しずる話しながら、目を離さないように見守り続けていただけたらと思います。



係やそうじ、給食当番の仕事を最後までおこなっている



この項目は、上記項目に次いで14%も1学期より下がりました。学校での様子を見ると、言われた仕事は頑張るけれども、自分から進んで仕事を見つけ、みんなの役に立つように頑張ろうとする姿は少ないように感じます。また、2学期から3学期にかけて「自分だけではない」と言って、係活動や当番活動を疎かにしている様子を見受けられる場面もありました。

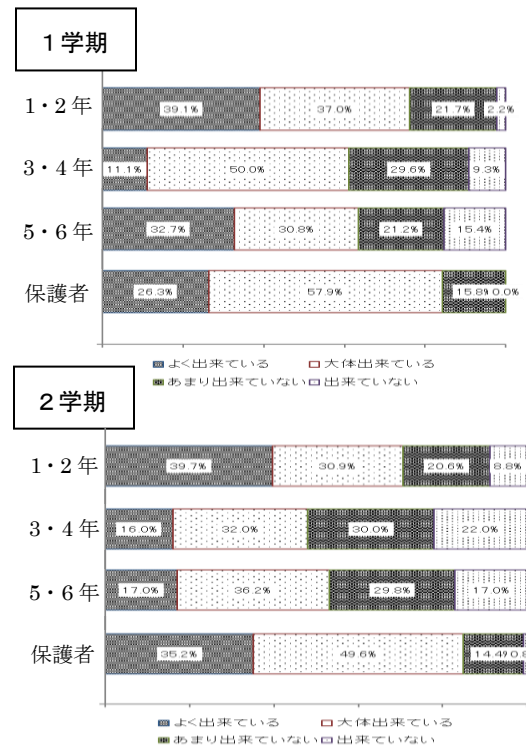
社会に出た時に、自分から進んで役割を見つけて働くことや、人に流されずに役割を果たすことができる人に成長してほしいと願っています。ご家庭でも、何か役割を与えて、責任をもって役割を果たしていくことを伝えていただけるとよいと思います。

自分のよいと言える

この項目は1学期も低かったのですが、2学期になりさらに10%低くなっています。保護者の皆様へは「我が子のよさを認め、ほめるようにしている」という聞き方をして、1学期と2学期で大きな変化はありません。

「自分のよさが言える」ことは、自己有用感につながり、子どもたちの心の成長にとっては大変重要なことです。ご家庭においては容認・激励の声かけが、学校では自分の役割を果たし達成感を味わう体験等が、子どもたちの自己有用感を育てることにつながっていきます。

自分のよさがいえる子は、お互いのよいところに目を向け、何事に対しても前向きにチャレンジする気持ちも旺盛です。また、相手を敬う、感謝するといった気持ちも高まります。これからも、学習場面や学校行事等を通して自己有用感を高めていきたいと思います。



「安心と信頼の学校づくり」目指し、今後も努力してまいります！
来年度も「学校評価」にご協力をよろしくお願いいたします。